

2018年

合格体験記

A Dream Makes Evolution



中学受験から大学受験まで

今年も大勢の生徒たちが合格を手にし、
 栄進を巣立って行きました。
 それぞれの志望校合格に け、
 一生懸命勉強に励みました。
 時には笑ったり、悩んだり、迷ったり・・・
 友人たちと励まし合って手にした合格。
 受験勉強を通じて学んだ様々なこと。
 栄進で切磋琢磨した生徒たちの思いを体験記として
 みなさんにお届けします。
 ここに記載されている体験記は、ほんの一部ですが、
 受験を通して、勉強だけではなく、
 精神的にも大きく成長した先輩方の声を参考にしてください、
 これからの受験勉強にお役立ていただければ幸いです。
 最後に、寄稿して下さった卒業生のみなさんに、
 職員一同御礼を申し上げます。

栄進・進学教室

目次

中学受験

― 受 験 指 導 部 ―

「僕の合格体験記」	長坂 佳悟 (恒久小学校) …… 3
「念願の合格」	藤崎 義人 (西池小学校) …… 3
「合格に向けて」	押川 佑衣子 (宮大附属小学校) …… 5
「人生の第一歩」	橋本 勘汰 (住吉南小学校) …… 5
「「勉強の仕方」との出会い」	藤原 淳成 (住吉小学校) …… 6
「後悔を胸に」	山口 美咲 (大塚小学校) …… 7
― 個 別 ク リ ア ―	
「合格発表まで」	黒木 ほたる (東大宮小学校) …… 8
「私の合格の鍵」	金子 未侑 (西池小学校) …… 8
「合格をつかむまで」	畑田 洋輔 (西池小学校) …… 9

高校受験

― 受 験 指 導 部 ―

「最後は自分」	黒木 悠里 (宮崎西中学校) …… 10
「入試までの時間」	中島 峻瑛 (大淀中学校) …… 11
「4パーセントからの大逆転」	加藤 葵 (東大宮中学校) …… 11
「希望をなくさない」	藪押 春輝 (住吉中学校) …… 12
「自分と向き合う」	森 美葉子 (生目中学校) …… 12
「土台」	小川 巧夢 (大塚中学校) …… 13
「巻き返し」	田中 房之介 (大塚中学校) …… 14
「Believe myself !!」	酒井 萌名 (大塚中学校) …… 14
「感謝の気持ちを持って」	久木元愛桃 (生目台中学校) …… 15
― 個 別 ク リ ア ―	
「合格までの道のり」	佐藤 優希 (宮崎西中学校) …… 16

大学受験

― 個別クリアー ―

「私の勉強法」	山田 隆人	(宮崎北高校)	17
「合格体験記」	元木 悠太	(宮崎北高校)	17
「感謝」	諸賀 颯兵	(宮崎大宮高校)	18

― 東進衛星予備校 ―

「受験を終えて」	江原 佳輝	(宮崎西高校)	19
「受験を通して」	富田 大伸	(宮崎西高校)	19
「思ったこと」	飯干 俊之輔	(宮崎西高校)	20
「合格体験記」	中島 功太郎	(宮崎西高校)	21
「継続と意志を貫く大切さ」	佐藤 令奈	(宮崎学園高校)	22
「合格へのカギ」	貴島 晴日	(宮崎大宮高校)	23



中学受験

― 受験指導部 ―

「僕の合格体験記」

宮崎西高附属中学校合格

長坂 佳悟 (恒久小学校)

僕が西高附属中学校に行きたいと思って栄進に入ったのは六年生になった春だった。その時はまだ西附対策コースだけだった。最初は塾ってみんな勉強ばかりしているんだろーなーと思っていた。だが休み時間にはみんなしゃべりかけたりしてくれて友達もできた。また、先生の授業が楽しくて、先生には分からないところをいつでも聞いたりといふんいきだったので夏からは6NSにも入った。

ぼくは、最初作文がとても苦手で西附の問題でも6/40など10点すらこえない時もあった。しかし、作文の担当だった和田先生が話し言葉と書き言葉の違いなどを分かりやすく教えてくださった。その結果あまり良い点とは言えないのだが最初よりも20点高い26点という結果を出すことができた。

また、適性の緞川先生は図や表を使って書くとき早く分かりやすく説明が書けると言ってくれた。今まで僕は文字だけで説明を書いていたので図などを使ってさらに早く正確にとけるようになった。

僕は中央校の平野先生、緞川先生を始め様々な先生に教えてもらったことをいかして西附合格をつかむことができた。

だがこれはまだ通か点なのでもっと努力して夢というゴールに向

かって進んでいきたい。

「念願の合格」

宮崎西高附属中学校・

宮崎大学附属中学校合格

藤崎 義人 (西池小学校)

僕は、小学五年生の三月に入塾しました。小学二年生から将来の夢を叶えるために西附に進学したいと思っていました。しかし、対策が分からず、学校の勉強しかしていませんでした。そして、入試まで約一年となった五年生の三月に入塾しました。僕は、栄進を西附に合格するための受験勉強が集中してできる場所として活用しました。ぼくが入塾した時には、NSクラスでは六年生の内容が終わっていたのでSクラスに入って勉強しました。土曜日の西附特訓にも行って勉強しました。夏休み前までに六年生の内容を終わらせ、夏講習からNSクラスに入りました。塾には週に最高五日行き勉強しました。僕が夏休み前までに六年生の内容を頭に入れることができたのは、栄進に行っていたからです。栄進で受ける授業は、他の場所受ける授業や勉強より頭に入りやすいです。なぜなら、栄進の先生方が熱心に分かりやすく教えてくださったからです。僕は、寝る間も惜しんで学校の宿題と塾の宿題だけしかしていませんでした。

そんな僕が変わったのは、最後の西附模試と中高一貫模試の結果が分かった時でした。十一月の下旬に結果が分かったので、残り五十日程しかありませんでした。西附模試は全部で三回あります。一回目はB判定、二回目はA判定となっていたので三回目もA判定かと

思っていたら、A判定に下がっていました。また、中高一貫模試も点数が下がっていました。僕は、最後の西附模試や中高一貫模試まで勉強を頑張り、西附に合格できるかもしれないと思っていました。しかし、現実はそのなに甘くありませんでした。僕は、シヨックを受け、勉強の仕方を見直しました。そして、学校に居る間も授業以外は受験勉強に使いました。昼休みも遊ばず、勉強を続けました。入試まで、もう模試がなかったので不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、それが体を動かしてくれたので、決して勉強がつまらないとは思いませんでした。

最後の二週間程は毎日自習室に行って勉強しました。西附入試の前日まで作文の添削をお願いして当日に持ってきてもらうなど、入試直前まで勉強を頑張りました。

入試前日には普段通りに寝て、入試当日は普段通りに起きました。そして、普段通りの食事を食べました。僕は、入試前の緊張で入試会場へ出発する前に勉強ができませんでした。入試会場に着くと、栄進の先生方が声をかけて下さり、少し緊張がほぐれました。入試は、苦手な時間配分に気を付けて解きました。すると、問題が簡単に感じられました。最後に二、三分余ったので見直しをしました。休み時間は、精神を統一させました。そして、僕は、入試を全力でやりきりました。入試から四日後、合格通知の封筒が届いていました。封をあけ、自身の紙を見ると「本校の入学予定者」と書いてあり、最初は戸惑いました。しかし、一緒に居た母に確認してもらうと合格だということが分かりました。その瞬間、僕は心から喜びました。後日、点数開示に行くと、西附タイプの問題で自己最高得点でした。

このように、西附に合格した僕が一年間の受験勉強を経て学んだことがあります。

一つ目は、栄進の先生を信じることです。栄進の先生は受験のプロなので、先生が出す宿題は、全てしていました。だから、今後受験す

「合格に向けて」

宮崎西高附属中学校・

宮崎大学附属中学校・

鵬翔中学校・

宮崎第一中学校合格

押川 佑衣子（西池小学校）

私は、小学校四年生の二月から栄進中央校に入塾しました。家が近いこともあって、六年生になってからは、学校と塾の往復が私の毎日の日課となっていました。夏休みに、私以外の家族が、東京に旅行に行きました。私は、何度もさそわれましたが断りました。それまでの私だったらきつといていたと思いますが、そのときは「塾だもん。」という言葉しかありませんでした。意識が変わっていったのは、六年生の夏休みに入ってからだったと思います。

夏休みが終わってから、勉強量に反比例する形で、四谷大塚の組み分けテストの偏差値がなかなかのびずに、逆に下がってしまうこともありました。でも私は結果を気にすることなく、復習することに力をいれました。毎日夜の十時まで自習をしていました。分らないところを親切に教えてくださった川上先生や伊藤先生には、本当に感謝の言葉しかありません。

受験直前の正月特訓では、鵬翔中学校、第一中学校、宮大附属中学校、西高附属中学校の過去問をたくさん解き、やり直しをしました。特に西高附属中学校の過去問は、答えを覚えるぐらい何度も解きました。また、西高附属中学校以外の適性検査の問題も解きました。そのことによって、受験に対する不安もだんだんなくなっていました。受験当日、塾の先生方が朝早くから学校にいらっしゃって、いつも

る人は、まず先生を信じることをしてほしいです。

二つ目は、勉強は集中することです。ぼくは以前集中して勉強していませんでした。入試が近づき、集中して勉強しても、解いておきたかった問題を解き終えることができませんでした。だから、早目に集中して勉強することを始めておけば良かったと少し後悔しています。

三つ目は、油断をしないことです。僕は、西附模試の二回目と三回目の間に少し油断していて、成績が下がってしまいました。だから、油断をしない方が良い結果になると思います。

四つ目は、最後まで諦めないことです。僕は、成績が下がっても諦めずに必死に努力しました。今後、受験をする人で成績が下がっても諦めないでほしいと思います。

五つ目は、普段通りに入試に臨むことです。普段通りでないと緊張し過ぎて、問題が解けなくなります。逆に緊張感なく、会場内を走り回ってもいけません。少しの緊張感を持ち、普段通りに入試に臨んだ方が良いと思います。

最後に、僕の合格を支えてくれた栄進の先生方、ありがとうございます。とても感謝します。

と変わらない笑顔で見送ってくださいました。最初の鵬翔中学校の受験のときはさんちようして、一時間目の国語のときおながいたくなるというハプニングもありました。

四校全てに自分のもっている力が出しきれたかというと、そうでもありません。ただ、試験を受けているときに、決してあきらめずに、一点でも多く点数をとろうという気持ちをもっていました。合格発表のときは、本当にうれしかったです。

姉のえいきようで中高一かんの受験を決めました。これからは、自分の夢に向かって大学受験までがんばっていきたいと思います。

最後に、いつも支えてくれた家族や先生方、まわりの友達、全ての人に感謝です。ありがとうございます。

「人生の第一歩」

宮崎大学附属中学校合格

橋本 勘汰（住吉南小学校）

ぼくが受験しようと思ったのは、五年生の時でした。そのころはまだ塾には通っていなかったのですが、学校の授業はしっかりと理解できていました。ある日、栄進に通っていた兄が宮附模試の案内を持って帰ってきました。母に受けることをすすめられ、ために受けてみることにしました。ぼくは、前日に教科書をしっかりと見てテスト勉強をしました。

しかし、実際解いてみると、小学校でいつも解いている問題とは違う問題ばかりで、解けない問題がたくさんありました。ぼくはこのときから、シヨックとともにくやしさを覚え、

「絶対に受験して合格してやる。」

と決心しました。そして、栄進花ヶ島校に入りました。

それからというもの、塾では先生のおっしゃったポイントを教科書に書きこんだり、分らないところを友達と相談し合ったりして、「分らないところ」をなくす工夫をしました。その他に夏講習や冬講習、また入試直前の正月特訓で入試の対策を練って完璧な状態で入試に挑みました。合格発表の日には心配になりましたが、今までの努力を信じて見に行くと、自分の受験番号がありました。この結果は自分だけではなく、塾の先生方や、ともに高め合う友達がいてくれたからこそその結果です。

しかし、ここがゴールではありません。努力して合格できたことが人生の第一歩だと思つてこれからも努力を続けていきたいです。

「勉強の仕方」との出会い

宮崎日本大学附属中学校合格

藤原 淳成（住吉小学校）

どうやったら点数がとれるのか、その答えを教えてくださいましたのが栄進・花ヶ島校でした。「どんなに時間をかけて勉強しても、適切な方法で勉強しなければ点数をのばすことは難しい」その事には気付いていましたが、どうしたら良いのかわかりませんでした。栄進に通うようになり、多くの先生方に「勉強の仕方」を教えてくださいました。

「勉強の仕方」を教えていただいた事で、宮崎日本大学中学校を受験する時には、自信をもって落ち着いてのぞむことができました。

ぼくは、国語の文章問題が一番苦手でした。しかし、文章中のどん

「後悔を胸に」

宮崎大学附属中学校・

鵬翔中学校合格

山口 美咲（大塚小学校）

私が受験をしたと思ったのは、五年生の一月ごろでした。そして、六年生のはじめごろ、栄進大塚校、受験指導部に入りました。最初は私より前に入った人がたくさんいて、授業に追いつくのに精一杯でした。成績も最初は上がらず、これからがんばろうと思いました。

夏休みが終わり、すぐに宮附模試があり、結果はB判定、以前より成績は上がりましたが、「まだまだ合格できない」と思った私は、何かできないかと考えました。そして、まだまだ勉強が足りないという自分の現状にたどり着きました。

ただ私には、送り迎えの時間が自由ではないという欠点があり、いつでもは塾に行けませんでした。そんな中、私には「まだ時間があるし、みんなも残ってないし、まだいいのかな。」と、気持ちが楽な方に流されかけていきました。

そんな私の心を読んだのかは分かりませんが、先生が「このままじゃだれ一人合格しないよ。」と言葉をかけてくれたのを今でもしっかりと覚えています。当時は「何言ってるの、一人は合格するでしょ。」と反対心もありましたが、昔の栄進生の話をしてくれて、昔合格した人と自分達のちがいを分かりやすくしてくれました。

この先生の言葉をきっかけに、授業がない日でも塾に来て自分に出来る精一杯のことをしました。

そして、いざ試験当日、緊張があつた私でしたが、同じ仲間、見慣れた先生、その顔を見るだけで安心し、本番では自分の実力全てを出

な言葉に注意して読めばよいのか、文章記述方式の問題の解答の作り方などを教えていただき、国語の点数がどんどん上がっていききました。また、算数では、図の書き方や、様々なきまりを使つて簡単に答えを求める方法を知りました。さらに、理科や社会では、問題の内容を表にまとめる方法や各時代の出来事を具体的に知ることによって年号を覚える方法を教えていただきました。

多くの過去問題を解きながら、このようなくわしい解説をしていただいたおかげで点数がとれるようになりました。点数がとれるようになると、勉強することが楽しくなり、次のテストの目標がもてるようになります。もちろん、毎回、良い点数がとれるわけではありませんが、まちがった問題は今後自分がのびるきっかけになります。二度と同じまちがいをしないように、まちがった問題を何度も解きました。このような「勉強の仕方」を教えてくださいましたのも先生方です。

栄進の先生方に出会わなければ、ぼくの合格は無かつたと思います。ぼくを合格まで導いてくださった先生方に、とても感謝しています。

中学生になつても先生方に教えていただいた「勉強の仕方」を忘れずに様々な事にチャレンジしていきたいと思っています。

せたと思います。

ですが問題は合格発表。最初に送られてきた鵬翔中、結果は補欠合格。なんとも微妙な結果で少し落ちこみました。次に宮附の合格発表。結果は不合格で、絶望的な気持ちになりました。先生の「ごめんね。」という一言で、すごく申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。その後、家に帰り一人で泣いていました。「もうだめなんだな。」と、心から思いました。

ですがその数日後、宮附中から繰り上げ合格の連絡が来て、心から喜びました。その一日後、鵬翔中からも連絡が来て、「こんなにも心つて変わるんだな。」と心から思いました。その事を先生に報告しに行くと、「本当に？良かった！」と心から喜んでくれ、それは先生だけではなく、親戚全員喜んでくれて、すごく良かったです。

これを通して今この体験記を読んでいる受験生みなさんに伝えたいのは、「迷ったら味方に相談して下さい」ということです。後悔してからでは遅いので、今出来ることを精一杯して下さい。そしたらきっと、すばらしい結果が待っているはずですよ。がんばって下さい。



——個別クリア——

「合格発表まで」

日向学院中学校合格

黒木 ほたる（東大宮小学校）

私は、ある日お父さんと日向学院の説明会に行きました。そこにはたくさんの方がいてみんな『ゼッタイ合格』とやる気にあふれているように見えました。私もそれを見てがんばって受験をしてみようと思いました。私はこの塾に入る前に試験を受けました。これは発表がないのでわからないが、きつとひどい点だったと思います。特に算数と社会です。これを話したらお母さんが「塾に行って受験勉強しようかね。」と言いました。

私は人生初の塾に行く事になってすごくきんちようしました。先生に私の实力を知ってもらうためのテストをしました。内容が理解できなかったり、答え方や式の書き方を忘れて泣きそうになりました。月日がながれ入試の前日、塾の先生や学校の友達に「がんばれ。」と、言ってもらい不安がとてまくなりしました。きんちようしながら解いていくと、塾で解いた問題や人物が出てきて塾に入っていないなければゼッタイわからなかった問題が解けるようになっていました。「これで少しだけでも点数がのびる。」と思いながら入試が終わると私の頭の中は真っ白になっていました。むかえに来たお母さんは、ごほうびに私の大好きなココアやチョコケーキを食べさせてくれました。

合格発表の日、私はドキドキしながら家に帰りました。結果は家に届くからです。家に入るとふうとうが置かれていました。私はきんちようしながら開けると合格者のしおりが入っていてびつくりしました。

ことができました。この間、新聞を読み、世の中のことを深く知ることができました。そして、最後まであきらめなかったからだと思います。これが、私の合格の鍵です。

「合格をつかむまで」

泉ヶ丘高附属中学校合格

畑田 洋輔（西池小学校）

ぼくはこの冬、ただ一つの志望校であった都城泉ヶ丘高等学校附属中学校に合格しました。

栄進に入塾したのは、五年生の四月でした。ぼくは元々算数が苦手で、学校ではあまりできる方ではありませんでした。そんなぼくにとつて、栄進中央校の個別指導部は最適な環境でした。栄進の個別は、授業の終わりに毎回、確認テストをするので、自分の實力を維持でき、成長を実感できました。ぼくが本格的に受験を意識したのは、五年生の冬でした。親や祖父父母からも泉ヶ丘高附属中の受験をしてみないかという話がきていたので、このとき受験をすると決めました。それから、個別の先生方に導かれ、自分の學力を高めていくことができました。六年生になると、受験指導部の西附オプシオンや日曜特訓などにも参加し、入試本番を見すえた学習も進めていきました。その結果、西附模試でも合格判定を一つ上げることができました。受験直前の冬講習や正月特訓では、周りの人からも刺激を受け、がんばることができました。

そして、入試当日。適性検査Ⅰ第二部では、これまでの傾向とはちがう問題が出たものの栄進で入試を想定した練習をしていたので、落

私はかなり後ろむきに物を考えていたのでびつくりが倍になって来ました。お母さんは泣きながらよろこんでいました。私は、私を合格につれていつてくれた塾の先生に早く連らくしたくて電話をかけ、「合格しました」と喜びをこめて言いました。私は、本当に塾の先生方やお母さん、お父さんに感謝しています。

「私の合格の鍵」

日向学院中学校・

宮崎学園中学校・

五ヶ瀬中学校合格

金子 未侑（西池小学校）

私は五年生の時に入塾しました。きっかけは、学校の友達にさそわれたことです。私はスポーツをしていたので、時間が合ったことと、自分の性格には個別の方が良かったことで、個別を選びました。

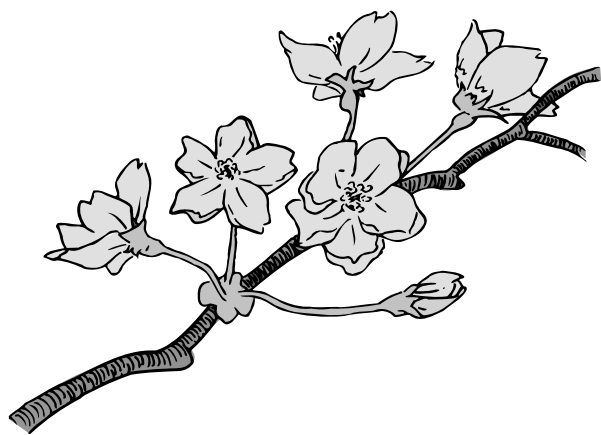
塾に入った当初は、受験につながると思っていなかったのですが、分かんなくても大丈夫と思っていました。しかし、六年生になると、まわりが難しい問題もスラスラ解いていたり、少しの休みでも、参考書を読んでいたりしている様子を見て、だんだんあせり出しました。そこから、競争心が生まれてきました。

そんな中、西附模試があり、結果は納得のいく点数ではありませんでした。第一志望である、五ヶ瀬中をあきらめ、私立中にしほることも考えました。しかし、あきらめず、五ヶ瀬中を受験することを決めました。過去問をてつて的に解いて、面接の練習もしました。

その結果、五ヶ瀬中と宮崎学園中、日向学院中の三校合格すること

ちついて問題に取り組むことができました。こうしてぼくは、念願の志望校合格を手に入れました。

ぼくが泉ヶ丘高附属中に合格することができたのは、栄進の先生方の指導があったからこそ成しとげられたことだと思います。ぼくは、栄進に通い、勉強することができて本当に良かったと心から思います。



高校受験

――受験指導部――

「最後は自分」

宮崎大宮高校普通科合格

黒木 悠里（宮崎西中学校）

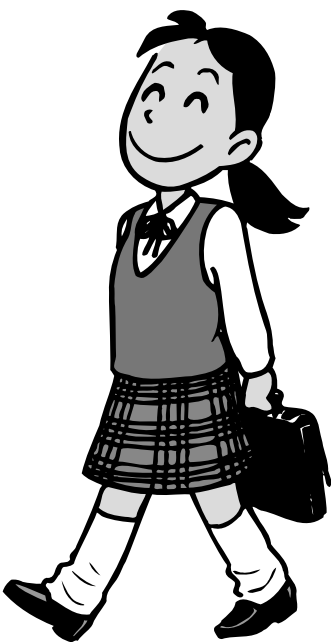
私は、中学二年生の夏から栄進でお世話になりました。初めて受けた授業はとても面白く、「塾ってこんなに楽しいんだ!」と思ったことを今でも覚えています。中三の後半は塾に行ける日はほとんど毎日塾へ行き、家にいるよりも塾にいる方が長いと思うほどでした。今思うと、もつと早く受験勉強を始めればよかったと後悔しています。

特に私は英語がとても苦手でした。学校のテストや塾の模試では英語が足を引っ張り順位が思うように伸びず、授業についていくのがさえ必死でした。自分の中での苦手意識がどんどん増えていき、もう出来ないと諦めていたとき、塾の先生方は基本からもう一度、丁寧に教えてくれました。プリントや過去問もたくさん用意して下さり、先生方のアドバイスを受け、苦手教科の克服を自分なりにしました。少しずつ解けるようになる喜びと楽しさは、私の心の面での大きな支えになりました。最後の模試では、勉強の成果が現れ、英語の点数がとも伸びていました。自分の努力だけでなく、先生や友達の支えがあったから、辛い受験を乗り越えることができました。

私は、受験勉強をする中で一番大切だと思うことは質問に行くことだと思います。できない問題や疑問に思ったことがあれば恥ずかしが

らずに質問することで苦手が克服できたからです。苦手から目をそむけ続けると、後々響いてきます。栄進には、どんなに些細なことでも、一から分かりやすく教えてくれる先生方がたくさんいます。相談にものってくれます。友達は賢くて優しく、ライバルとして競い合えます。先生は個性豊かで面白いし、授業は本当に楽しいし、塾で過ごした一年半はとても充実していました。

最後に、これから受験を向かえる皆さん。最後は自分の意志です。どこに行きたいか、これからどうしたいか、苦手を克服するのも自分の意志です。自分のことを信じて、自信を持って入試に臨めるよう、後悔しないよう、今から頑張ってください。毎日コツコツ積み上げた努力は自信へ繋がります。



「入試までの時間」

宮崎西高校普通科合格

中島 峻瑛（大淀中学校）

僕は正直、中学一年生の頃から部活が最優先という気持ちが強く、勉強をあまりしていませんでした。すると、当然成績はどんどん落ちていき、気づけば受験生になっていました。僕は中学一年生の頃から宮崎西高校に行きたいという気持ちが強かったのですが、自分でも本当に合格できるのか不安でした。刻々と時間が過ぎる中で、その気持ちが大きくなっていました。

そんな時、部活動の先生のこんな言葉を思い出しました。

「現状維持は後退なり」

という言葉です。現状に満足して向上心を持たなければ後退しているのと変わらないということです。宮崎西高校から志望校を変えることは簡単ですが、向上心を持って残された限られた時間を効率よく使うことができました。前半、部活をやっている成績が落ちと書きましたが、部活をやっていたからこそという部分もあると思います。

塾では基本的な問題から応用問題まで、しっかりと解き、入試の時にも対応できたのでまずは基本から抑えることが大切だと思います。僕が合格できたのは、塾に入っていたからという部分が大きいです。

僕は他の人に比べ、勉強をしない方でした。それは今でもいえることかもしれませんが、受験生になり、高校に入るために勉強を少しずつするようにになりました。今、僕と同じで勉強をしない人は、自分が行きたい高校に行くために少しでも勉強のおもしろさを探して、頑張ってください。

「4パーセントからの大逆転」

宮崎大宮高校文科情報科合格

加藤 葵（東大宮中学校）

4パーセント。これは、私が入塾したばかりの頃に受けた、模試での文科情報科の予想合格率です。当時、初めて、自分の合格までの道のりの遠さを知り、とても不安な気持ちになったのを今でも覚えています。

そんなどん底にいた私がしたこと、それは一言で書くと、「努力」です。…とはいえ私は多くの時間を勉強に当てるような努力はしていません。私がしたのは、他の人よりもいかに質の高い学習を楽しんでいるかという努力です。具体的には、間違えた問題をなぜその答えになるのかと考えることを心がけました。このようにすることで、自分が知らなかったことを一つの間違った問題からいくつも発見することができました。そして、全ての教科において、自分でも信じられないくらい大幅に成績を伸ばすことができました。しかし、私の入試本番までの道のりのなかでは、推薦入試失敗というつらい出来事もありました。ですが、今までの努力があったからこそ途中であきらめず、最後まで全力でやりとげることができました。

これから受験生となるみなさん、今後成績が伸び悩み、途中で投げ出しそうになるときもあるかもしれませんが、しかし、私は、どんなときでも、努力することを忘れないでほしいと思います。合格をつかみ取った人は、みんな努力をしています。私も努力して大逆転をしました。みなさんが笑顔で来年の春を迎えられるよう祈っています。

「希望をなくさない」

宮崎西高校理数科合格

薮押 春輝（住吉中学校）

僕は小学六年生のころから塾に通い始め、これまで約四年間通い続けました。塾の先生の丁寧なご指導のおかげで、僕の成績はどんどん上がっていききました。

中学二年生の頃、僕は志望校を迷っていました。三年生まで悩み続け、その頃はまだ点数が足りなかった宮崎西高校理数科を受験することに決めました。決めてからは、とにかく勉強を頑張りました。その結果夏の模試ではA判定になっていました。しかし、そのことで油断してしまい、勉強は二の次になってしまいました。成績はどんどん下がっていき、志望校をかせようと思ったのは一度や二度ではありません。そこで支えてくれたのは、友達や先生でした。友達は悩んでいた僕の相談相手になってくれ、元気づけてくれました。先生方は僕が分かりやすいように教えて理解させることで、勇気づけてくれました。そして入試本番。多くの点数は合格点に達し、合格することができました。

僕が受験勉強をする中で疑問に思ったことがあります。それは「なぜ僕たちは勉強をするのだろうか」というものです。これは多くの人が疑問に思っていることだろうと思います。受験は人生の中の通過点であり、僕たちの将来の可能性は無限にあります。受験勉強をする中での困難に立ち向かうことで、可能性はどんどん広がっていき、これからの人生にも役に立つと僕は信じています。だから、僕は、後輩の皆さんには最後まで諦めてほしくないと思います。途中勉強につまづくことがあると思います。そんな時は、自分の将来の夢などの希望を糧にして頑張ってほしいと思います。

「自分と向き合う」

宮崎大宮高校普通科合格

森 美菜子（生目中学校）

「あつた！お母さんあつたよ！」

この日やつと受験勉強で流してきた悔し涙が、嬉し涙に変わりました。

私は中学二年生のとき、得意である英語の点数が低かったことをきっかけに親にたのんで、塾に通いさせてもらいました。

中学三年生の秋に志望校を決めたにもかかわらず、入試の一ヶ月前までは自分が大宮高校を受けてもいいのだろうかと思っていました。しかし、その頃に塾で三者面談があつて「君なら合格できるんじゃないかな」と宮辺先生に言われて、遅かったけど、その日から私の受験勉強が始まった気がしました。私にとって、大人の人と話すのは苦手だったので、先生に質問しに行くことはとても大変でしたが、合格するためなら、何が何でも第一志望校に合格するという気持ちがあつたから苦しいことでも立ち向かうことができました。

受験当日は、みんな頭良さそうでもとても不安でしたが、「君なら合格できる」という先生の言葉が私の支えになり自分の精一杯の力を出しきることができました。

三者面談でまだ点数が足りていなかったのに「がんばれ」と言つて私に第一志望校を受けさせてくださった担任の先生、いつも優しい目で見守り、時には厳しく私たちを叱つて背中を押してくださった塾の先生方、そして何よりも私のことをいつもそばで応援し、協力してくれた家族には、感謝という漢字二文字以外何と表せば良いのかわからないくらい感謝しています。

「土台」

宮崎西高校理数科合格

小川 巧夢（大塚中学校）

自分が栄進に入塾したのは、小学校六年生の夏休みだった。宮崎西高附属中を受けたいと思い、一生懸命勉強した。でも、不合格だった。その時の悔しきは今でも覚えている。

その後、大塚中学校に入学し、「理数科に絶対に入つてやろう」という気持ちでしっかり勉強をした。中学三年生になると、様々なテストや演習があり、自分のできていない所が明らかになっていった。自分より少し成績の悪かった友達と、どこができていないのかを指摘しあった。自分は、難しい問題で点数がとれていなかった。友達は、難しい問題はとれているのに、基本的な問題を落としていた。その時、三年間言われ続けていたことを思い出した。

「土台が大切」

この言葉通り、基本的なことをしっかりとっていたから理数科に合格できたと思う。それと、中学受験の思い出も自分の中の土台となっていたと思う。これからも、大学受験に向けてしっかりと土台をつくっていききたいと思う。

最後に、栄進の先生方、三年半という長い間ありがとうございました。



合格した日がゴールではなく、その日がスタートです。私たちの時から大学入試が変わるので、今から先のことを考えて勉強していきましょう。

受験を通して学んだ人のあたたかさや優しさ、人に対する感謝を忘れず日々努力し、一歩ずつ前に進んでいきます。

「巻き返し」

宮崎西高校普通科合格

田中 房之介（大塚中学校）

僕は中学三年の十二月の終わりに入塾しました。当初、受験というものにあまり理解ができていませんでした。中・二の時は成績の波がだんだん落ちていくようになり、中三の時の最初のテストでは五十番以内からはずれ、そこから点数があまり取れなくなってしまうしました。そんな時、入塾し、実績を伸ばせるようになりました。

僕は小さいときから、何か起きたら、すぐにネガティブに考えてしまう癖があったため勉強している中では絶対に考えないようにし、受験実施日や合格発表の日は自分に自信をもって挑むことができました。また、大塚校の宮辺先生にも受験する前日には、『君は落ちついてやれば絶対受かる』と言われ自信をさらに裏付けるものになりました。

「高校への受験」は人生最初の分かれ道だと自分でも思っており、両親にも同じことを言われました。また、高校での友達は一生の友達だとも言われました。これから、進む道が自分にとってプラスになるかマイナスになるかは分かりません。けど、今までの勉強がマイナスになることはありません。どれだけ成績が悪くても、ネガティブに考えず、自分ができる最大限のことをして、応援してくれた人々への恩返しと思って頑張るのもまた一つの手だと考えます。「落ちる」という恐怖に負けないで、頑張ってください。

「感謝の気持ちを持つて」

宮崎南高校フロンティア科合格

久木元 愛桃（生目台中学校）

今私は、喜びと達成感で胸がいっぱいです。私がこのような気持ちを抱けているのには、多くの人の支えがあり、受験という大きな壁を乗り越えることができたからです。特に、栄進の先生方には最後の最後までお世話になりました。

私が塾に入ったのは、中一の夏講習からでした。入塾当初は受験なんてまだまだ先のことだと思っており、学校の課題と塾から出た課題をやるだけでした。また、模試の結果もA判定やA判定ばかりで特別何もせず、時間だけが流れていきました。

三年生になってからも、一、二年生の時と勉強法を変えることもなく、一、二年生と同じサイクルでやってきました。

しかし、三年生の二学期から塾の模試でB判定をとるようになり、少しずつ焦りを感じ始めました。冬講習が終わってからの最後の模試もB判定で、冬講習を受けたのにも関わらず、成績が一向に上がっていないことにとても悩みました。

それから、実践演習が始まり、その悩みはどんどん大きくなりました。私は、実践演習で見たこともないような点数ばかりをとっていました。その結果を見て家でよく泣いていました。そして、今までのことを振り返り、自分はやっているつもりになっていたことに気が付きました。それに気が付いた時には、入試本番まであまり時間がありませんでした。そこで私は、母と塾に相談に行きました。塾の先生は、真剣に私の話を聞いて下さり、私の苦手な分野のプリントも用意して下さいました。その次の日から、毎朝五時に起き、塾でもらったテ

「Believe myself !!」

宮崎南高校フロンティア科合格

酒井 萌名（大塚中学校）

受験が終わり私が伝えたいことは二つあります。

一つ目は、「努力をコツコツ積み重ねる」ことの大切さです。努力は自分の自信になります。しかし、私は入試一週間前までは努力しているにも関わらず、ネガティブ思考にしかありませんでした。夜中まで勉強していましたが、実戦テストやプレテストではいい点数を出すことはあまりありませんでした。苦しくて逃げだしたくても弱い自分に負けず、「次は必ず」という気持ちで毎日コツコツ勉強しました。入試本番、周りの人達はみんな緊張していました。しかし、私はあまり緊張せず落ち着いてテストに臨めました。また、「できる」という強い気持ちがある中にありました。それは、今までの努力が自信につながったからだと思っています。

二つ目は、自分としっかり向き合うことです。私は、数学が苦手です。私は今まで数学から逃げていたと思います。しかし、数学は一・五倍がかります。そこで、私は向き合い努力しようと思いました。最初はあまり結果がでず、悩みました。しかし、向き合い続けたことで難しい問題が自力で解けるようになったり、テストの点数が上がりました。

最後に、後輩のみなさんへ。

受験勉強をしていくと苦しくて逃げたいことが多くあると思います。そんな時は弱い自分に負けず、努力して下さい。必ず、自分の自信になります。ファイト!!

キストやプリントを解き、学校から帰ったらすぐに塾に行くようになりました。そして、分からない所は、塾で先生方に質問しました。栄進の先生方は、分からない所を分かるようになるまで優しく丁寧に教えて下さりました。それから、少しずつ自信をつけることができました。入試当日は、不安な気持ちもちろんありましたが、栄進の先生方にサポートしていただきながら、やれることはやってきたため前向きな気持ちで臨むことができました。

合格発表では、自分の番号を見つけ、自然と涙がこみ上げてきました。それと同時に、今まで支えてくれた人への感謝の気持ちも溢れてきました。

私が合格できたのには、今まで塾に通わせてくれた両親、そして塾で先生方が最後まで全力でサポートして下さいましたからです。これから受験を迎える皆さんも、支えてくれている人に感謝の気持ちを持ち、志望校を目指して頑張ってください。



——個別クリア——

「合格までの道のり」

宮崎西高校普通科合格

佐藤 優希（宮崎西中学校）

三年生になり、周りの友達が少しずつ受験に向けて頑張っている中、私は志望校ですら決められずにいました。受験なんてまだまだだと思っており志望校が決まってからなかなかやる気をだすことができませんでした。学校に行き授業を受けて宿題を終わらせる。塾がある日は塾に行き勉強をする。そんな風になんとなく毎日をすごしていました。

そうこうするうちに夏休みが終わり、ほとんどの人たちが本格的に受験勉強をするようになりました。一人とり残されたように勉強に集中できない私。頭ではやらなければならないと思っても行動に移すことができずあせる気持ちがあきどるようになっていきました。そんな時、藤田先生から「いつでも自習においでよ。」と言われていたのを思い出しました。家においても勉強しないで塾で勉強しようと考え、自習に行くようになりました。塾で勉強することでしたっきりと集中して取り組みることができました。それから家での勉強も集中して取り組みることが出来ました。また自習だけではなく苦手な教科の補習をしてもらうことで分からない所が減っていき、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。塾で学習することで学校でも分からない時をそのままにせずやり直しをしたり、分かるまで友達に聞いたりと自分から積極的に勉強することができるようになりました。

受験までの道のりはとてもきつく辛く長かったです。それをのりこ

大学受験

——個別クリア——

「私の勉強法」

宮崎大学工学部

電気システム工学科合格

山田 隆人（宮崎北高校）

私は、センター試験を課す推薦入試で宮崎大学工学部電気システム工学科に合格しました。私は、宮崎大学に合格するために、主に数学と英語を重点的に取り組みました。数学は、直接合否に影響する教科だったので、特に頑張りました。模試やセンター試験の過去問や、栄進の先生が出してくださる問題集を中心に取り組み、それらのやり直しをすることによって点数を伸ばしました。センター試験が新傾向になった際も、動揺せずに問題を解くことが出来るよう、たくさんの問題を解きました。そのおかげで、応用力が付き、難問にもチャレンジ出来るようになりました。英語では、試験の際有理になれるように、日本英語検定取得に取り組みました。筆記対策は栄進の先生が用意してくださったテキストを中心に取り組みました。また、私は文法問題が苦手だったので、イディオムの暗記にも取り組みました。面接対策は、栄進の先生とマンツーマンの実践方式で行いました。過去の問題や、先生のオリジナル質問で練習し、スムーズに回答出来るようになりました。これらのおかげで私は、英検に合格し、有理な状況で推薦入試を受験することが出来ました。これらの取り組みによって私は無

えられたのは塾の先生や家族、周りの人たちのおかげだと思います。私は栄進の個別クリアに行っていたからこそここまで頑張れたんだと思います。そして合格することができたんだと思います。これからはもっと大変になると思うけど栄進で学んだことを忘れず頑張っていきたいと思います。



事第一志望校に合格することが出来ました。一二年生の皆さんには、栄進という最高の環境を大きく活用して、勉強していったほしいなと思います。つらい経験をした分、明るい未来を見れると思うので、ぜひ頑張ってください。

「合格体験記」

鹿児島大学工学部

電気電子工学科合格

元木 悠太（宮崎北高校）

私は、推薦入試を受験し、鹿児島大学に合格することができました。今まで勉強を頑張ってきましたが、一番感じたことは家族や学校、塾の先生等への感謝です。たくさんの人々に支えられたからこそ私は合格を手に入れることができたのだと思います。

私は、高校三年の模試で希望する点数を取ることができなかったのですが、塾の先生に相談し、勉強の仕方を学びました。特に悩んだ教科が理科と日本史です。毎日の予習・復習がとても大事で、それをあまり取り組みることができていなかったことを後悔しています。勉強して感じたことは、どの教科も毎日の積み重ねがないとテストの点数は上がらないということです。私は約一年半個別塾に通っていましたが、やる気が出ない時は塾の自習スペースで勉強し、担当の先生に気軽に質問できたりして、充実した環境で毎日勉強することができました。おかげで、苦手教科を克服することができました。

私が個別を利用するきっかけとなったのが英検二級に合格したいと思い、入塾しました。

授業が分かりやすく、楽しくなってきたことから物理と化学の授業を増やし、自分のペースで勉強できて個別に入って良かったと思います。

「感謝」

熊本大学教育学部

小学校教員養成課程合格

諸賀 颯兵（宮崎西高校）

私は無事、高校一年生から志望していた大学に合格することができました。しかし、合格までの道のりは、とても険しいことばかりでした。高校の体育祭が終わってから、本格的に勉強を始めました。それまでは、分からない問題を放置し、定期テストの度に一夜漬けで覚えるということが多々ありました。しかし、このままではダメだと思い、分からないところは、まず自分で調べたり、学校や塾の先生に隙を見つけては質問していました。そのおかげか、成績は少しずつ伸びていきました。けれども、センター試験はそんなに甘いものではありませんでした。いつもよりも点が取れず、志望校はあまり良い判定ではありませんでした。その後に行われたセンター有りの推薦を受けましたが、不合格でした。とても悔しく、悲しかったのですが、まだ前期試験があると思い、最後まで踏ん張ろうと改めて思うことができました。そこから、過去問をたくさん解き、多いものでは、十五年分解きました。この努力や周りの人の支えのおかげで、試験会場では、不安や緊張は多少ありましたが、落ちついて、堂々としていくことができました。そして、合格を掴み取ることができました。しかし、これは自分

——東進衛星予備校——

「受験を終えて」

京都大学医学部医学科合格

江原 佳輝（宮崎西高校）

栄進には中学時に大塚校で三年間、高校では東進で三年間と長くお世話になりました。

高校一年時には高校対応数学と板野先生の現代文を受けていました。東進の数学の授業は内容が凝縮されており、一気に進めていくことができます。非常におもしろく一年で数Ⅲまで終わらせることができました。また現代文ではきらいだった読解問題が好きになり、学校で受ける進研模試などでも少しずつ点がとれるようになっていきました。

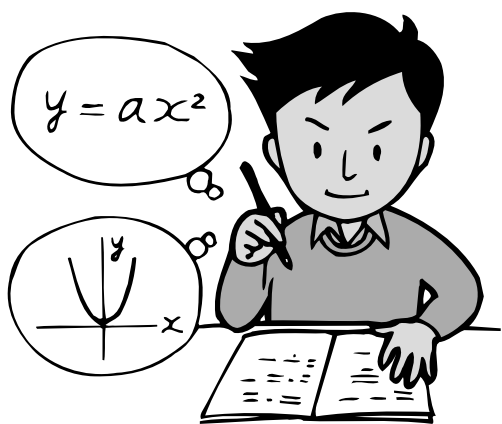
高校二年時では理科を極めようと思いハイレベル化学と苑田先生のトップレベル物理を受講しました。東進の理科は最強だと思います。特に苑田先生の物理は妥協がなく、高校範囲を逸脱した内容まで扱い、理解するだけでも大変でした。何度も繰り返し復習し、苑田先生に成りきって、同じく苑田教信者の友達と「瞬間でわかる」とか言いあうほどでした。そのおかげで本番は問題が超簡単に感じられました。

高校三年時は過去問演習講座を活用し、ひたすら過去問を解いて演習しました。特に文系科目は自分で採点するのが難しいのでとても助かりましたし、アドバイスももらえて大変よかったです。

この他東進でのセンター模試、大学別模試はペースメーカーとなり最後の勉強法を考えていく上で役立てることができたと思います。最後になりますが、合格できたのは何といっても、東進と一緒に勉

だけでは絶対に出来なかったことだと思っています。常に気を配って心配してくれる芥田先生をはじめ、栄進の先生方には、たくさん迷惑をかけたと思います。三年間ありがとうございました。また、常に一緒に戦ってくれた仲間には、「受験は団体戦」という言葉をとても感じられました。そしてなにより、どんな時もどんなことがあっても笑顔を絶やさず支えてくれた家族には感謝してもしきれません。ありがとうございます。

これからは、将来の夢である小学校教員になるために、勉学に励みたいと思います。周りの人のおかげで得たこのチャンスを生かすのも殺すのも自分次第なので精一杯頑張ります。お世話になった方々、本当にありがとうございました。



強してきた友人たちの励ましの言葉や担任の桑俣先生の支えがあったからです。皆さんも周囲の仲間や先生方の応援を力に変えて第一志望合格をつかみとって下さい。

「受験を通して」

九州大学医学部医学科合格

富田 大伸（宮崎西高校）

今回私は第一志望の大学に合格することができた。

センター試験、二次試験対策の模試を何回も受けてきた手応えとしてセンター試験、二次試験をいい感触で終えることができた。しかし合格発表が近づくにつれ不安が募り、よく眠れない日々が続いた。そして、合格発表の日、インターネットの掲示板を見て自分の番号を見つけたときの喜びと安堵感ばかりしれないものだった。

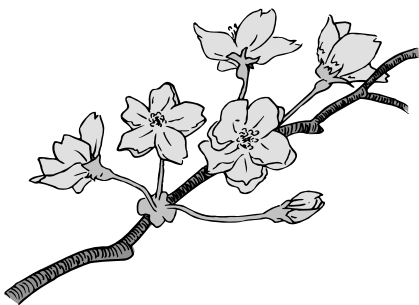
私は高一の四月から東進に通い始めた。私は高一のはじめの頃からかなり勉強していた。この時期に自分の勉強のペースとやり方をつかむことができた。できれば高一で自分にあったやり方、自分にあった量をつかむとよい。高二の頃は高一の時ほどは受験を意識したことはなく、勉強して楽しかった数学、物理、化学ばかりしていた。この時期は好きな科目を見つけ、一問一問をじっくり考えるなかで思考力を伸ばし、理解を深めるべきだと思う。高三の頃はかなり受験を意識した。自分がこなせる量を見極め自分の勉強のペースを維持することに終始した。自分のペースを維持し伸び悩み時期はあったものの、少しずつ成績を伸ばすことができた。この時期はかなりの問題を解き自分は何ができて、何ができないのかをはっきりさせ、できないところを

埋めていくように勉強していくのが良いと思う。

センター試験、二次試験を受験して感じたことは受験には二つの力があるということだ。一つはどの程度の問題が解けるかということにおける実力、もう一つは、試験本番において自身の実力を本番で出し切る力である。一つ目は、なるべく一、二年生の内に付けておいた方が良い。三年生になるとしななければならない科目が増えじつくりと考える時間がとれないからだ。二つ目は普段受けていく模試の中で培っていくと良いと思う。

もう一つ感じたことがある。大学受験に合格するかどうかは勉強を「やるか」「やらないか」であるということだ。今の自分の実力を把握し、足りないところを勉強する。これをくりかえすのだ。これから自分がどれくらいやるかにかかっているのだ。そして「やれば」合格は見えてくるのだ。

最後にこの三年間私は多くの人に支えられてきたと思う。学校の先生方、友人、先輩、後輩、また東進の桑俣先生。この方々に深く感謝します。



「思ったこと」

熊本大学医学部医学科合格

飯干 俊之輔（宮崎西高校）

私は高校二年生で東進に入りました。今までの勉強の遅れを取り戻したいと考えていた私にとって、自分に合った講座を受けられるという東進のシステムにとっても魅力を感じ、入塾を決めました。

私は理科が苦手だったので、講座としてはハイレベル化学を受講しました。基礎から応用まで分かりやすくまとめられてあったのでとても助かりました。また、受講後に自分で復習を行うことを意識しました。勉強においては復習が大事だと思っています。理解することと解けることは別物だと思うので、復習を常に意識していました。具体的にはやり直しノートをうまく活用しました。最終的に、苦手だった化学を得意にすることができました。これも東進のおかげだと思っています、とても感謝しています。

また、自習室の存在もありがたかったです。どうしても家ではだらけてしまうことがあると思い、できるだけ自習室にいるようにしました。周りのみんなが勉強をしているので自分のモチベーションや集中力を高く保つことができました。

この一年間辛いことがたくさんありました。それでもこうして合格することができたのも東進の先生をはじめ、様々な方のサポートがあったからだと思います。この感謝の気持ちを絶対に忘れないようにしたいです。みなさんもこれから、受験に向けて自分に厳しく意識を高くして勉強に励んで下さい。

「合格体験記」

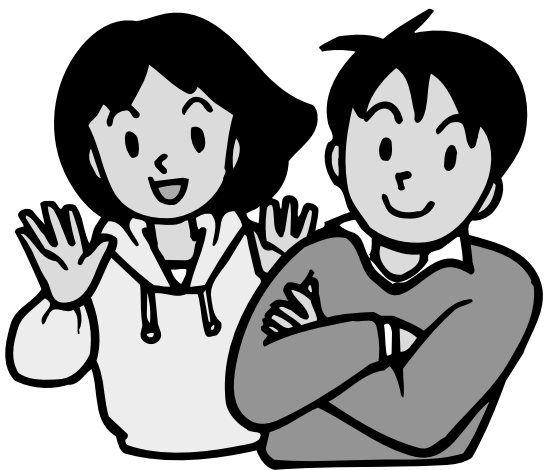
九州大学共創学部合格

中島 功太郎（宮崎西高校）

東進には高一からずっとお世話になりました。東進の授業はとても質が高く、予復習と東進の授業とで早い時期に基礎を固められたと思います。かゆい所に手が届く、きめ細かな講座構成は東進の大きな魅力です。また模試の数も多く、センター試験形式の模試に至っては年に6回もあるため、マーク式ならではのコツやスピード感を大いに養うことができました。東進の支えなくして今回の合格は得られなかったと思います。

高一高二のうちは部活等もあり、学校の課題やテストを疎かにしないことを第一に生活していました。東進で数学の講座を受講していたため、それにリードしてもらった形で学校の授業を受けることができました。二段階で基礎固めすることができました。学校の授業でつまづいた時は、東進でその部分をピンポイントに受講し、穴を埋めていました。

高三になると、学校も東進もいよいよ受験モードに入り、過去問での演習などに追われ基礎固めの大切さを毎日のように痛感しました。私は夏休みを利用して数学や理科の基礎問題を改めて解き、不安要素を少しでも小さくしようとしました。センター試験が終わると、本格的に志望校に特化した勉強に取りかかります。九州大の英語は語彙レベルは平易ですが、文字数が多いため速読力が求められます。一通りの単語を覚えた後はとにかく各大学の長文を読み漁りました。このように、それぞれの大学の問題にはそれぞれの個性や傾向があります。赤本や東進の各大学別模試を通じて志望大の特徴を一早く掴み、自らの勉強計画を立てて欲しいと思います。



後輩のみなさんが今志望している大学は、付け焼き刃的な勉強では到底手の届かない難易度の高い大学です。自分の力に慢心せず、学校や東進での日々の勉強にひたむきに取り組んで下さい。人は慢心した瞬間に成長が止まります。第一志望の合格を勝ち取るまでは謙虚に突っ走りましょう。ありがとうございました。

「継続と意志を貫く大切さ」

お茶の水女子大学

文教育学部言語文化学科合格

佐藤 令奈（宮崎学園高校）

「勉強が好き。」小学生の頃から中学生の途中まで、私はそう思っていました。算数も国語もテストではほとんど満点で、栄進に入り中学受験をしようと決めてからはさらに勉強に意欲的になりました。宮崎学園に入学し、定期テストでは普段コツコツ勉強していたため、常に三番以内には入っていました。その頃は遊びと両立できていたため、勉強がとても好きでした。

しかし、中学三年になって勉強に嫌悪感がでてきました。高校の授業になり数学も難しくなって、一度それまで継続していた勉強をしなくなりました。それでも周りの意識の高い友達がいてくれたので最低限はしていたお陰か、急に成績が落ちるということはなく、高校に上がりました。高校に上がった途端、大学受験という壁が見えてきます。志望校をお茶大に決めて東進で勉強を続けましたが、あるとき学校の先生に勧められて東大を目指すことにしました。それ相応の勉強をしながらも、あまり意欲が湧かず、自分で自分にプレッシャーとストレスを与えてしまい、大切な高三の夏から体調を崩すようになりました。学校を休みがちになり、センター前までその状態が続いたためにセンターはとても不安でした。しかし、平均点の低かったリスニングでいつものような高得点が取れたりするなど、八割以上得点できました。きつと六年以上の勉強の継続がもたらしてくれたことだと思います。二次でも今までしてきたことが実を結んだのだと思います。

途中で志望校を変え、もちろん学んだこともありました。けれど、

「合格へのカギ」

同志社大学心理学部心理学科合格

貴島 晴日（宮崎大宮高校）

私が東進に入塾したのは高三の八月でした。その当時の私といえば、日々の学習時間はほぼゼロに近い、定期テストさえまともに向き合っていなかった、と半年後に入試を控えた受験生としては最悪の状態でした。特に足をひっぱっていたのは世界史。これをどうにか残された時間で私大レベルまでもっていきたい、というのが一番の目的でした。そこで私がとった計画は、二カ月以内に世界史の全範囲をひととおり終えることでした。その後の残りの期間をじっくり復習することに使おうという作戦です。加えて古典、英語等の成績を伸ばす必要もあったので、体育祭の日も文化祭の日も休まず塾へ向かい、なんとか計画どおりに学習を進めました。しかしそれはあくまで準備の段階。十月からはただただ同じものを繰り返し使い復習しました。この「同じものを繰り返す」ことが私を合格に導いたカギであったように思います。自分が最も力をいれた教材にしばって繰り返すことは、どの教科にも共通の、効率のよい学習法であるはずです。

私の通った高校では、それぞれの受験科目に関わらず、全員がセンター直前まで全教科の授業やテストを受ける必要がありました。私大志望の私にとって、受験科目の他に四科目学習しなければならない状況は苦しいものでした。そんななかだからこそ、新しいものに焦ってとびつくのではなく、自分を信じて繰り返すこと。これが私に合った学習法だったのだと感じます。切羽詰まったときこそ基本に立ち戻り、見落としてきたものを発見したり、忘れていたことに気づいたりできれば、それは大きな力になります。これから受験を控える皆さんも、

後輩の皆さんには自分が本当に行きたい大学を志望して欲しいと思います。

そして、合格できたのは塾の先生方の支えのおかげでもあります。栄進の先生方、個別指導の先生方、そして東進の先生方。受験の不安でいっぱいなのか、先生方のかけてくださる言葉に何回も励まされました。七年間をこの塾で学ぶことができて、本当に良かったです。心から感謝しています。

ありがとうございました。



残された時間で合格を勝ちとることは絶対に可能です。頑張ってください。



栄進 2018年 合格実績

西高附属中 **11**名

宮大附属中 **29**名

五ヶ瀬中 **2**名

泉ヶ丘高附属中 **1**名

早稲田佐賀中 **1**名

創価中 **1**名

鵬翔 **32**名
中学16名(内特待16名) 高校16名

宮崎第一 **52**名
中学21名(内特待17名) 高校31名

宮崎日大 **90**名
中学14名(内特待7名) 高校76名

日向学院 **41**名
中学17名(内特待13名) 高校24名

宮崎学園 **90**名
中学23名(内特待19名) 高校67名

日章学園高 **8**名

公立高校 計 **177**名合格

宮崎大宮高 **44**名
文科情報科8名、普通科36名

宮崎西高 **34**名
理数科4名、普通科30名

宮崎南高 **18**名
フロンティア科5名、普通科13名

宮崎北高 **27**名
サイエンス科2名、普通科25名

都城高专 **1**名

宮崎工業高 **12**名

宮崎商業高 **19**名

宮崎農業高 **9**名

佐土原高 **9**名

その他県立高 **4**名

国公立大学 計 **76**名合格

国公立 医-医 **8**名
京都大学 **1**名、九州大学 **1**名、熊本大学 **1**名
宮崎大学 **2**名、防衛医科大学 **3**名

東大 **1**名 理Ⅰ 京大 **2**名 医-医、理 九大 **6**名 医-医、医-保3、薬、共創

宮崎大 **19**名 医-医2、医-看護、工5、農5、教育4、地域創成2 筑波大 **2**名 情報、芸術専門 お茶の水女子大 **1**名 文教育 横浜国立大 **1**名 経済

神戸大 **1**名 経済 広島大 **1**名 法 長崎大 **1**名 教育 佐賀大 **1**名 理工

熊本大 **8**名 医-医、理4、法、文、教育 大分大 **1**名 福祉健康 鹿児島大 **6**名 理、工3、法文2 北見工業大 **1**名 工

電気通信大 **1**名 情報理工 京都府立大 **1**名 生命環境 大阪市立大 **1**名 商 九州歯科大 **1**名 歯

宮崎公立大 **7**名 人文7 防衛医科大 **3**名 医-医3 防衛大 **7**名 理工5、人文2 その他国公立大 **3**名

私立大学 計 **89**名合格

上智大 **1**名 経済 明治大 **1**名 農 法政大 **2**名 経済、社会 青山学院大 **3**名 法、経営、国際政治経済

東京理科大 **3**名 理2、理工 北里大 **1**名 薬 日本獣医生命科学大 **1**名 応用生命 津田塾大 **1**名 学芸

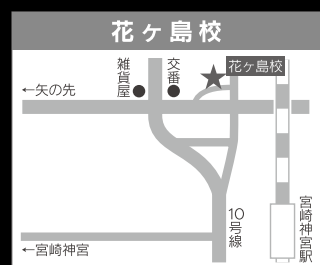
日本大 **3**名 生物資源、危機管理、芸術 東洋大 **3**名 経営2、理工 同志社大 **1**名 心理 立命館 **1**名 経営

関西学院大 **3**名 文、人間福祉、総合政策 西南学院大 **3**名 法2、国際文化 福岡大 **8**名 医-医、薬、理、工2、法3 その他私立大 **54**名



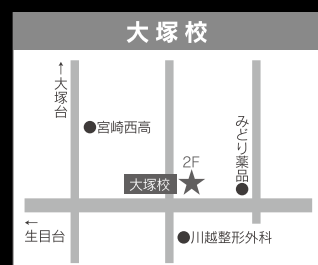
宮崎市大橋1-81-1

【受験指導部】 TEL.0985-28-4870
【個別クリア】 TEL.0985-77-6633



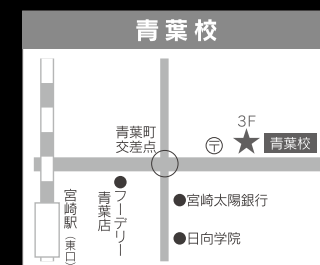
宮崎市南花ヶ島町260-1

【受験指導部】 TEL.0985-24-7700
【個別クリア】 TEL.0985-24-6048



宮崎市大塚町大迫南平4486-1

【受験指導部】 TEL.0985-52-2442
【個別クリア】 TEL.0985-52-2468



宮崎市吉村町平塚甲1831

【受験指導部】 TEL.0985-29-3719
【個別クリア】 TEL.0985-29-4108



宮崎市太田4丁目4-25

【東進衛星予備校】 TEL.0985-82-6789
【個別クリア】 TEL.0985-53-6990



◎各講座・模試等についての
お問い合わせ
申し込みは栄進各校まで。

